

平成 30 年 9 月 28 日

豊岡市議会

議長 嶋崎 宏之 様

議会広報広聴特別委員会

委員長 上田 倫久

委員会調査中間報告書

本委員会に付託された調査事件について、豊岡市議会会議規則第 45 条第 2 項の規定により、下記のとおり中間報告します。

記

1 付議事件

議会広報紙の発行及び市民意見の聴取、並びに広報・広聴に関する調査研究等

2 委員会調査経過

本委員会は、平成 29 年 11 月の臨時会において委員の選出が行われ、新体制でスタートした。

今期から広聴活動にも重点が置かれ、付議事件に「市民意見の聴取、広聴に関する調査研究等」が加えられた。

今日までの新たな取り組みとして、第 66 号で「議会だよりに関する市民アンケート」を実施するとともに、第 67 号において分析結果を特集記事として報告をした。

議会だよりの発行にあたっては、各号それぞれ 3 回の委員会を開催し、掲載内容の検討、紙面のレイアウトを行いながら原稿の作成・編集を行った。

編集にあたっては、掲載内容の確認のため、会議録と原稿のチェックを行い、記事の読みやすさに留意しながら最終校正までの作業を行った。

また、各定例会の委員会審査における委員会意見と当局回答の頁を新設。本文中、写真をできるだけ多用するとともに、市民等の写真を掲載し、より親しまれる議会だより発行に心がけた。

また、市民により分かりやすい、そして手に取ってもらいやすい議会広報を届けるための研修として、管外行政視察を 1 回実施した。

毎日新聞社 毎日文化センター主催の第 31 回近畿市町村広報紙セミナーに参加し、広報紙の理念、広報紙に求められる役割等のノウハウを学ぶとともに、意見交換を行い、広報の発行に関する諸課題について認識を深めることができた。

【議会だよりの発行】

○第 64 号（平成 29 年 12 月発行） 12 ページ

〈表紙〉 船上で水揚げされた「津居山かに」の目利きをする漁師

〈内容〉・議長、副議長就任あいさつ

- ・委員会等の構成
- ・会派の紹介
- ・新議員の紹介
- ・市議会 Q & A ほか

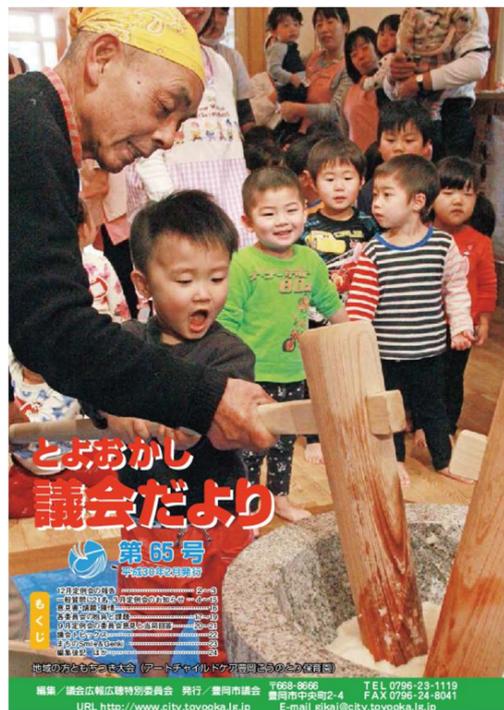


○第 65 号（平成 30 年 2 月発行） 24 ページ

〈表紙〉 地域の方ともちつき大会（アートチャイルドケア豊岡こうのとりの保育園）

〈内容〉・12月定例会の報告

- ・一般質問（21名）
- ・意見書、請願・陳情
- ・各委員会の抱負と課題
- ・その後どうなった？！
（9月定例会の委員会審査における委員会意見と当局回答）
- ・議会トピックス
（行政視察受入状況）
- ・まちの Smile & Genki ほか



○第 66 号 (平成 30 年 5 月発行) 24 ページ

〈表紙〉 第 46 回出石そば喰い大会
奈良市から家庭円満戦に出場した
Family

- 〈内容〉・ 3 月定例会の報告
- ・ 会派代表質問 (5 名)
 - ・ 一般質問 (16 名)
 - ・ 意見書、請願・陳情
 - ・ その後どうなった?!
(12 月定例会の委員会審査にける委員会意見と当局回答)
 - ・ まちの Smile&Genki
 - ・ 「とよおかし議会だよりアンケート」
ほか



○第 67 号 (平成 30 年 8 月発行) 24 ページ

〈表紙〉 あっ!かえるさんにげちゃうよ~
いまだ!にゲロ~ゲロ~
小川の生き物探し
(コウノトリの郷公園)

- 〈内容〉・ 6 月定例会の報告
- ・ 一般質問 (18 名)
 - ・ 特集 議会だよりアンケート結果
 - ・ 意見書、決議、請願・陳情
 - ・ 委員会からの報告
 - ・ その後どうなった?!
(3 月定例会の委員会審査における委員会意見と当局回答)
 - ・ まちの Smile&Genki ほか



(今後の議会だよりの発行予定)

○第 68 号 (平成 30 年 11 月発行)

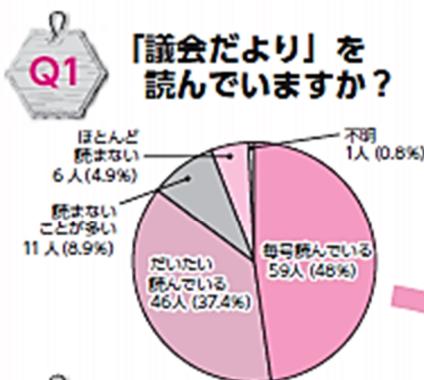
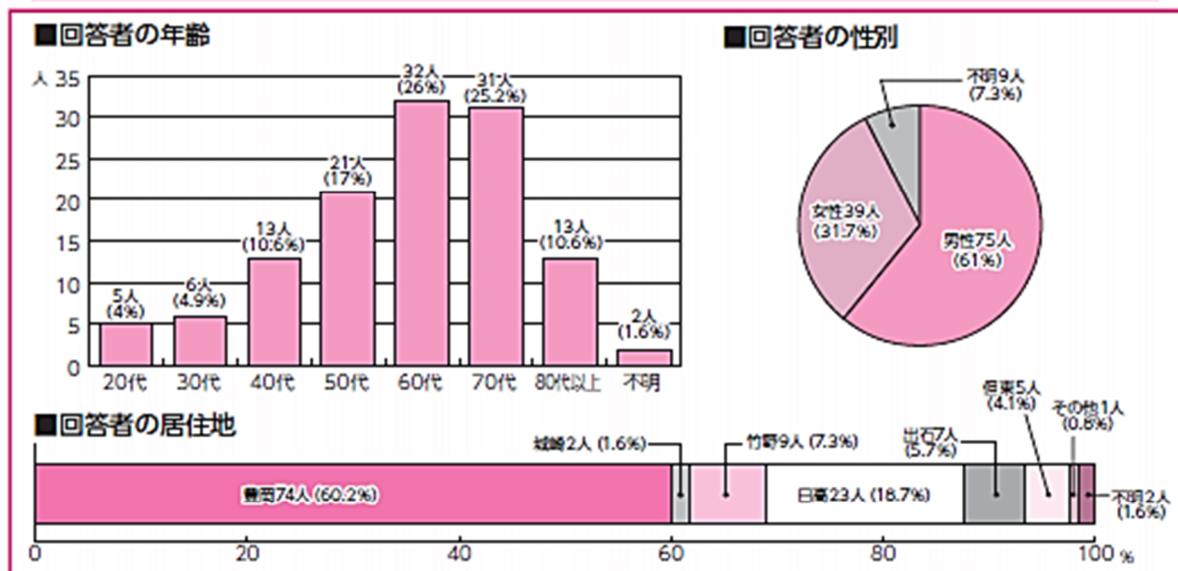
〈表紙・内容〉 未定

特集
議会だより
アンケート結果

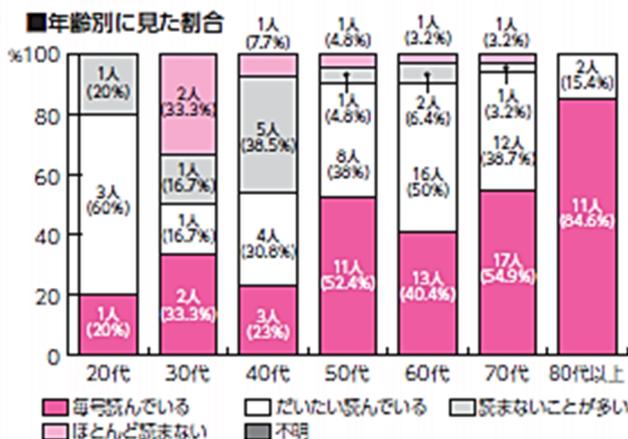
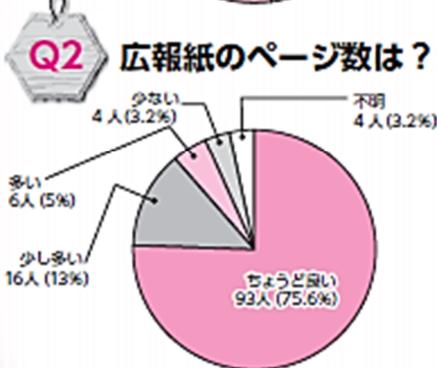
よく読まれている記事は、 議案の審議状況や

読みやすく、親しみやすい紙面づくりを目指しており、市民のみなさんのご意見ご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。

- アンケートの実施方法
- 「議会だより」5月号にハガキ形式のアンケート用紙を載せて全戸配布
 - 5月25日～6月20日の間に、郵送により回答
 - 回答者数 123人



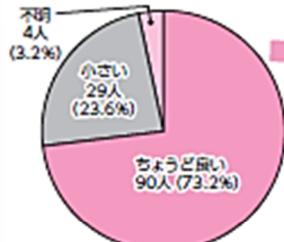
もう少し詳しく分析すると…
ほぼ半数の方が毎号読んでいると回答されています。20代、30代、40代では毎号読んでいる方の割合は20～30%。年齢が上がるに連れてその割合が高くなっており、70代では54.8%、80代では84.6%となっています。



「市政を問う（代表質問・一般質問）」 その後の経過も関心が高い

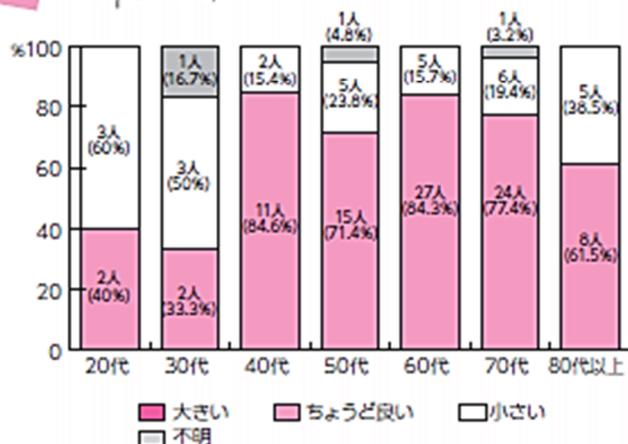
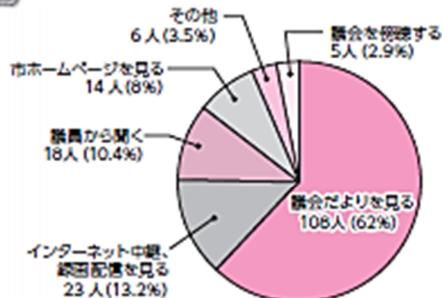
を今後の広報紙づくりに生かすため、読者アンケートを実施しました。

Q3 紙面の文字の大きさは？

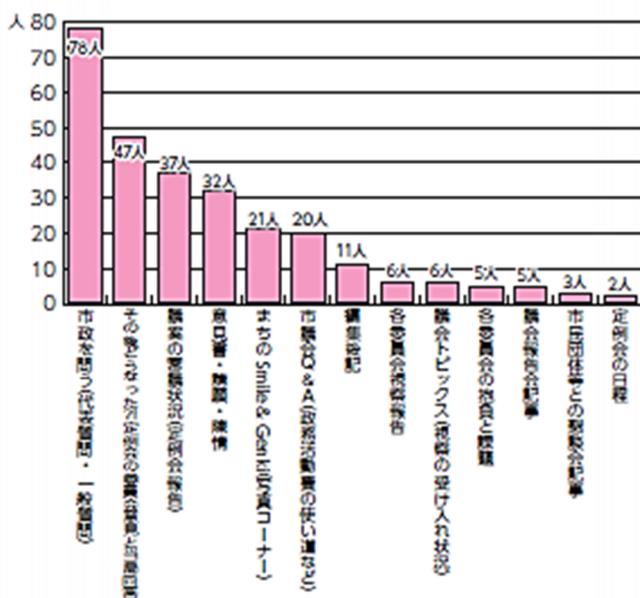


もう少し詳しく分析すると…
ほぼ4分の3の方がちょうど良いと回答。しかし、20代、30代で小さいと回答された方の割合が高くなっています。

Q4 市議会のことをどのような方法で知りますか？（複数回答可）



Q5 よく読んでいる記事はどれですか？（3つまで回答可）



Q6 今後、「議会だより」で取り上げてほしい内容はありますか？

- 各議員の日頃の活動状況や議会閉会時の議員活動
- 議員の一日または一月の活動スケジュール
- 各会派の活動状況や政務活動費の使い道など
- 議会改革の取組状況
- 意見書、請願、陳情の審査の経過、継続審査の意見や賛否の主旨など
- 代表質問、一般質問の内容を詳しく
- 問いに対して答えがあいまいなのでもっと詳しく
- 議員提案等、積極的に市政に関わる姿

※市の事務事業への要望や指摘事項（教育、芸術文化、雇用、空き家、道路化、コバス、水道、バス路線、未来ビジョン、福祉、防災、ごみ回収、地域コミュニティなど）は市の担当部署へお伝えします。

特集 議会だより アンケート結果

アンケートに、市民のみなさんから「議会だより」に対する自由なご意見・ご感想を書いていただく欄を設けました。

アンケートにご回答いただいた方は123人、そのうちこのご意見・ご感想欄に記入された方は38人(31%)でした。

Q7

「議会だより」に対するご意見やご感想

読みやすさなど評価も いただいています

- ・議会の活動がわかりやすくなった。今後も、編集の充実を。
- ・インパクトがあって、写真構成がよい。次回が待ち遠しい。
- ・全体を通して読みやすさを感じる。表紙の写真がインパクトがあり、毎号楽しみにしている。
- ・写真やイラストなどでわかりやすくなった。私たちのくらしと健康のために頑張っている議員の奮闘を。
- ・旧豊岡市に比べ、質量ともに格段の前進である。議員自らの編集であれば賞賛に値する。写真の編集、掲載は一考願いたい、反省、改善を志向されており、評価したい。

内容についてご提言もありました

- ・議員に親しみが持てるよう趣味、好きな食べ物、愛読書、小さい頃なりたかった職業、座右の銘等を載せてほしい。
- ・市民（読者）の声の欄を作ればよい。内容に新鮮味が出ると思う。
- ・市政、市長が実施した良い点・活動も取り上げてほしい。

議会や議員活動への期待、苦情もありました

- ・市民の代表として、活発な活動を期待している。
- ・各方面に出向いて各戸各人の意見を聞くことが全くない。情けない。
- ・議員はもっと地元住民とふれ合うべき、その声を吸い上げ論議すべき。
- ・市民のための議員活動ができていない。市民のための運動をすべき。
- ・市政を市民本位のものに。議会制民主主義は数の力かもしれないが、議員個人の力がまずはじめ。
- ・一人一人の議員が何をしているのかわかる。人のため世のために市民のためにがんばってほしい。期待している。
- ・大開通では人の往来が見られず、さびしさを感じる。議会における取り組みなどを示してほしい。
- ・地方議会は市長のチェック機関をしている。議員による市長への叱責は多くの市民の声を代弁するものであり、拍手を送る。

紙面の内容できびしいご指摘を いただきました

- ・問いよりも答えを詳しく、議員の質問主旨は表題で分かる。質問者一覧は不要。
- ・内容の充実を。広く浅くではなく、これからの時代を担う若者とが豊岡を語り合えるような場を。
- ・茶席の写真は議会広報で取り上げるものか。市広報ですべき内容では。
- ・少しかたぐるしいので、もう少しソフトな表現を。
- ・まちのSmile&Genkiは市広報と重なり、不要。
- ・写真が多く、大きすぎないか。まちのSmile&Genkiは必要か。議会だよりは素々と議会の状況を伝えることが本旨のはず。
- ・広報、議会だよりの紙質が上等過ぎる。経費節減の意識が感じられない。
- ・「議会だより」の紙はもっと薄くてもよい。経費のムダ。

※アンケートの対象となった5月号は、最終ページにアンケートハガキを印刷したため、表紙と最終ページは他のページに比べて厚紙を使用しています。

こんな感想もありました

- ・議会のことは、議会だよりで学んでいる。
- ・大きな字の部分だけ目を通す。穏やかな豊岡市でありますように。
- ・難しい話のあとに編集後記を読むとホッとするとともに編集のご苦労が見えてくる。とても楽しみにしている。一般の住民にわかりやすく問いかけてもらっているようだ。身近に感じる写真がうれしい。
- ・議会だよりは、すべて読んでいます。毎号楽しみながら、現況を知ろうとしています。傍聴に行けないので、充実した議会だよりを頼みます。
- ・毎度詳細な議会の様子を読ませていただいている。
- ・毎号楽しみにして読んでいます。

紙面の都合上、ご意見・ご感想を要約しています。ご了承ください。

3 今後の課題

今日まで、これらの編集活動や視察研修を行う中、今まで培ったノウハウを踏襲しつつ、さらに検討しながら市民に親しまれる紙面づくりに心がけた。

現状として、①発行日が議会開催月の翌々月でタイムリーでない。②委員が広報に係る研修などにより資質の向上を図るとともに、広報編集要領の共通認識による編集を行う必要がある。

今後の課題として、①より一層市民の皆さまに親しみを持って読んでもらえる議会だよりにする。②議案表決の結果にかかわらず、委員会での審査状況を掲載するなど議会の様子を詳細に伝える必要がある。③シリーズ記事、トピックスの掲載などにより、市民にさらに市政や議会に関心を持っていただき、議会の状況をもっと知っていただく必要がある。④読者（市民など）が投稿などで議会だよりへ参加ができる環境を整える必要がある。

また、「議会だよりに関する市民アンケート」の実施、分析結果に基づき、市民の声、意見を反映させるべく、今後の広報紙づくりに生かしていきたい。

継続して紙面構成全般について「より見やすく」「より手に取ってもらいやすい」「親しみやすい」議会だより作成に向けた検討が必要と考える。

ホームページ等も活用する中、市民への詳細な情報提供、タイムリーな情報発信にさらなる検討・努力が必要である。